

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	世界と共生する社会の形成	施策	② 多文化共生型社会の構築
			施策の小項目名	○外国人にやさしい観光地づくり
主な取組	案内表示の充実強化(道路案内標識等)			
対応する主な課題	②また、本県の外国人登録者数は平成28年12月末現在において、14,285人となっており、年々増加している状況である。国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる社会の構築に向け、県民の異文化・国際理解の向上など、海外からの移住者・滞在者の増加に対応した環境づくりに取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
道路案内標識の適切な設置および修繕・更新を行うとともに県内の主要な地名を示す目標地や主要な観光地を示す著名地点等をローマ字、英語を併記することで外国人観光客等の道路利用者に対してわかりやすい情報提供を行う。		H29	H30	R元	R2	R3
		12基 案内標識の設置・更新・修繕				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課 【098-866-2665】					
		案内標識の設置・更新・修繕				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 公共交通安全事業							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：案内標識の設置・更新・修繕を41基行った。
一括交付金(ハード)	直接実施	60,773	84,454	118,446	138,379	174,528	186,247	一括交付金(ハード)	OR2年度：案内標識の設置・更新・修繕を12基行う。

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：
									OR2年度：

活動指標名	案内標識の設置・更新・修繕				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	12基	12基	18基	82基	41基	12基	100.0%	174,528	順調	下地島空港の開港に伴い、宮古管内において、空港への案内標識を新設したなど、各県管理道路において9基の新設、32基の標識を修繕し、合計41基の対策を行った。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 案内標識の設置・更新・修繕については、計画値12基に対して、実績値41基であることから順調に進捗しており、外国人観光客を含めた道路利用者の移動の円滑化が図られ、観光振興に資することができている。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			

(2) これまでの改善案の反映状況

令和元年度の取組改善案	反映状況
・人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりのため、案内表示の充実強化について、道路案内標識の英語表記については、表示内容を点検し、国・県の道路管理者が一体となり、必要に応じ協議し、引き続き、修繕・更新の整備を行う。 ・沖縄ブロック標識適正化委員会にて積極的に情報提供し、案内箇所、案内ルート、英語表記内容を検討し整備する。	・案内標識について、下地島空港の開港に伴い、宮古管内にある、宮古空港と下地島空港の英語表記の区別をつけるため、宮古空港の表示「AIR PORT」を沖縄標識適正化委員会で定めた名称「MIYAKO AIRPORT」に修正した。 ・沖縄ブロック標識適正化委員会にて、「道の駅 サンライズヒガシ」など3施設を案内箇所、案内ルート、英語表記内容を決定し著名地点に登録した。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・改良道路の開通に伴い、周辺道路等と連携した案内標識設置の在り方や、道路網整備の進捗により、観光地への案内ルートの変更の必要性が生じている。

○外部環境の変化

・地域から特定の施設や観光地へ利用者を安全かつ円滑に誘導するため、案内標識の設置要望が上げられている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・特定の施設や、観光地への案内は、国、県、NEXCOの管理する道路を経由して案内することもあるため、ルート選定や、変更は、道路管理者間で調整を行い連携していく必要がある。

・観光立県として、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるように国・県の道路管理者が一体となり、案内箇所の英語表記方法、ピクトグラムの表示方法など検討していく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・案内標識に関する要望や協議事項が生じた場合は、沖縄ブロック道路標識適正化委員会で積極的に情報提供し、国、県、NEXCOの道路管理者で協議し、案内地点の登録、案内ルートを検討し、英語表記内容については、有識者の意見を踏まえ、案内標識の整備向上及び表示内容の充実を図っていく。